

平成28年度農学部基本計画(経営戦略)

H28.04.18教授会承認

目 標	計 画	平成28年度検討課題	責任者・ 責任委員
教育の質の向上	生物資源環境学科の充実 —教育コースの充実・学生支援—	カリキュラムの改善(継続) ・平成29年度実施予定の学科改組に伴って履修登録単位数の上限設定(早期卒業制度の導入)について決定する。 ・平成29年度実施予定の改組後の新学科におけるグローバル教育及び地域との連携方法の具体化を検討する。 ・卒論のあり方・指導体制について検討する。(継続)	生物資源環境学科長
		学習指導体制の点検(継続) ・改組後の指導体制(学級教員、チューター教員等)のあり方について検討する。 ・単位修得不良者に対する指導体制を点検する。	生物資源環境学科長
		多様な入試による入学者に対する入学前教育の実施とチェック機構の検証(継続)	生物資源環境学科長
	共同獣医学科の充実 —教員組織の整備とカリキュラム改革—	効果的な教育方法の推進(継続) ・遠隔講義、並びに教員・学生移動型授業における教育手法をさらに改善、改良する。 ・「公衆・家畜衛生インターンシップ実習」の実施法について近隣の府県自治体と協議し、実施体制を整える。	共同獣医学教育開発推進センター長
	共同獣医学科の充実 —教員組織の整備とカリキュラム改革—	臨床教育の充実(継続) ・モデル・コア・カリキュラムの臨床分野のうち、5年次開講の科目(総合参加型臨床実習を含む。)について、実施方法の詳細を鳥取大学及び岐阜大学で協議し、決定する。	共同獣医学科長
		獣医師養成教育の水準向上(継続) ・従前の専門教育カリキュラムから共同獣医学科のカリキュラムへ円滑に移行するため、両大学の学年暦を見据え授業編成を行う。 ・獣医学共用試験を実施し、共同獣医学科第1期生における教育効果を検証する。(新規) ・獣医学教育の第三者評価の実施に関する情報収集を継続する。	共同獣医学科長
保護者との連携	保護者説明会の開催(継続)	教務委員長	
大学間連携フィールド教育への参加	里山フィールド演習の実施(継続)	教務委員長	

目 標	計 画	平成28年度検討課題	責任者・ 責任委員
教育の質の向上	大学院修士課程の充実	学生の海外志向とモチベーションの向上(継続) ・TU-ITPについて、修士学生に対し積極的に参加を呼び掛ける。 ・第13回日韓国際合同シンポジウムを、大学院生のグローバルコミュニケーション能力強化の場として位置付け、本学大学院生に発表の機会を与える。 ・平成29年度研究科改組に伴い、海外へ修士学生を派遣する短期留学プログラムの開発を検討する。	研究科長 (及び専攻長)
	大学院修士課程の充実	学部でのキャリア教育との連携(継続)	研究科長 (及び専攻長)
		改組に伴う新カリキュラムを検討、策定する。(新規) ・学生のニーズにあった研究主体のカリキュラムを策定する。 グローバル人材育成支援事業の枠組みにおける農学研究科の教育の充実(継続) ・クォーター制の教育効果を評価する。 ・グローバル人材育成支援事業に対応したプログラム開発を検討する。	研究科長 (及び専攻長)
	受験生の増大	入試制度の点検(継続) ・調査を継続し、入試制度の改善を図る。	入試委員長
		入試広報の充実(継続) ・広報媒体の点検・充実を図る。 ・ホームページによる情報発信の拡充を図る。 ・平成29年度改組のため農学部ホームページをリニューアルする。	広報委員長
		県内受験生の増大(継続)	入試委員長
		AO、推薦Ⅰの見直し(継続)	入試委員長
		就職ガイダンスの充実(継続) ・一般企業編就職ガイダンスについては外部講師を招き、10月から3月に4回実施する。また、公務員編ガイダンスを7月と12月の計2回実施する。 ・全学年を対象に一般企業及び公務員の卒業生との懇談会を12月に実施する。 ・就職活動時期の変更に伴う学生の就職活動状況を把握するとともに、内定状況に応じて、キャリアセンターと連携を取りながら就職支援を強化する。 ・獣医学科における企業説明会などの就職支援活動状況を点検し、支援活動内容を検討する。	就職支援委員長

目 標	計 画	平成28年度検討課題	責任者・ 責任委員
教育の質の向上	(前頁続き)	キャリア教育の充実(継続) ・新入生に対するキャリア入門の講義内容を点検し、より充実したキャリア教育を実施する。 ・インターンシップ等の専門科目におけるキャリア教育について、単位化の有無に関わらず、学生の学外活動を把握できるシステム作りを検討する。	就職支援 委員長
	地域の再生・活性化や「知(地)の拠点形成事業」に関する教育の実施	平成28年度は、農学基礎実習演習、環境共生科学コース及びフードシステム科学コースの専門科目を中心に学外で地域の方々の指導を受ける実習等を実施する。	COC整備 推進室兼 任教員
研究部の資金の導向上の推進	菌類きのこ遺伝資源研究センター及び鳥由来人獣共通感染症疫学研究センターの充実と活用	きのこ資源が生産する有用生理活性物質の探索(継続) ・センターが保有するきのこ類の培養株及びきのこ子実体の抽出物から医薬リード化合物となる生理活性物質を探索するため、染色体工学研究センターほかと連携して研究を推進する。成果は、特許申請や企業との連携により、きのこ資源の活用を進める。 ・きのこ抽出物や揮発性物質から、作物病害菌に対する抗菌成分や害虫防除に利用できる物質を探索し、安全な生物農薬の開発を目指す。 ・上述の研究に関連する研究の推進のため、農林水産省などの外部資金の獲得を目指す。 遺伝資源の充実と利用促進、および、地域貢献の推進(継続) ・新規きのこ遺伝資源の収集を進め、TUFC保存株数の増加を図る。 ・TUFC菌株の品質管理を進め、公開株数1600株を目指すとともに、菌株のDNA塩基配列情報も公開して、遺伝資源データベースの充実に努める。 ・冊子体の菌株リストを発行し、広報活動を推進して、分譲件数及び株数の増加に努める。 ・名古屋議定書への対応を踏まえながら、海外分譲を開始するとともに、菌株の寄託制度を整備する。 ・きのこ観察会や講演会を開催して、地域貢献を推進する。	菌類きのこ センター長
	菌類きのこ遺伝資源研究センター及び鳥由来人獣共通感染症疫学研究センターの充実と活用	研究と地域貢献の推進(継続) ・農林水産省及び環境省との連携により、今後の高病原性鳥インフルエンザの国内発生に対応する。 ・北海道大学人獣共通感染症リサーチセンターとの特定共同研究「鳥由来人獣共通感染症病原体の解析」を推進する(新規)。 ・ベトナムとの鳥インフルエンザ国際共同疫学調査を実施する。 ・日本中央競馬会畜産振興事業「豚インフルエンザワクチン株の評価系の確立事業」を推進する。	鳥由来セン ター長

目 標	計 画	平成28年度検討課題	責任者・ 責任委員
研 究 の 質 の 向 上 の 推 進 	学内・学部内プロジェクトの推進	教育・研究プロジェクトの推進(継続) ・プロジェクトチーム数の増加に努める。	学部長
		教員による学部内研究セミナーの開催(継続) ・研究セミナーを継続し、大型プロジェクトへのステップアップにつなげる。 ・新任教員の研究セミナーを開催する。	学部長
	外部資金の獲得	農水省・環境省等他省庁を含めた研究費の獲得(継続) ・農学部附属施設を中心に、文部科学省以外の省庁等の大型予算獲得への努力を継続する。	学部長
		鳥取県・地域試験研究機関・企業との連携推進(継続) ・学部長が中心となり鳥取県・地域試験研究機関・企業との連携を推進する。	学部長
		科研費申請の義務制度の継続及び採択件数の増加に向けての取り組み実施(継続) ・研究シーズの掘り起こしを行う。	学部長
	外部資金の獲得	競争的資金等の間接経費の取り扱い方針の評価(継続) ・光熱水費について、月別推移を把握・公表する。	学部長
	研究機器の整備と有効活用	研究機器の充実と研究の効率化の推進(継続) ・共通機器の導入・管理方法を検討する。 ・マスタープランの整備・点検・周知を行う。	学部長
	教員の研究活動活性化支援	教員の研究活動を活性化するための評価・支援方法の導入、特に、若手教員の研究力の強化(継続) ・教員の研究活動の自己点検と評価方法を検討する。 ・若手教員の研究活動支援策を検討する。	学部長
社 会 貢 献 の 推 進	フィールドサイエンスセンターの 活用	附属幼稚園、小中学校教育への学習機会の提供(継続)	FSセンター長
		研究・技術の問合せ対応(継続)	FSセンター長
		FSCの技術のPR(継続)	FSセンター長

目 標	計 画	平成28年度検討課題	責任者・ 責任委員
社会貢献の推進	動物医療センターの充実と活用	地域との連携の推進(継続)	動物医療センター長
		設備の整備(継続)	動物医療センター長
		経営・運営面の強化(継続)	動物医療センター長
		リスク管理体制の強化(継続)	動物医療センター長
	地域との連携	鳥取県・鳥取市・日南町・琴浦町・南部町・大山町・智頭町及び真庭市との連携の推進(継続) ・農学部全体としての取組を強化する。	学部長
		公開講座の推進(継続) ・受講者数の増加につながる広報活動を検討する。	学部長
		農業技術における連携の推進(継続) ・連携に努める。	FSセンター長
		鳥取県農林水産業産学官技術会議への参加(継続) ・活動を継続する。	FSセンター長
運営体制の改善	運営の効率化と透明化	教育評価など多面的な評価の導入の検討(継続) ・他大学の導入実態等について調査を継続する。	学部長
		農場収入・演習林収入の増収努力(継続) ・増収や品質向上に向けた検討を進める。 ・特別栽培農産物の栽培を推進する。 ・農産物の加工品を実習で作り販売する。 ・ナシ新品種への切替を推進する。 ・農産物等の新たな販売方法を検討する。	FSセンター長

目 標	計 画	平成28年度検討課題	責任者・ 責任委員
運営体制の改善	(前頁続き)	予算・決算書の公開(継続) ・代議員会資料としてウェブ上の農学部スペースに公開する。	事務長
	運営の効率化と透明化	省エネの推進(継続) ・農学部経費削減推進委員会で管理経費の削減目標・計画の作成と具体的提案を教職員に行い、省エネを推進する。 ・光熱水料の削減目標を設定し、また、使用実績を教授会で報告するなど経費削減意識の高揚を図る。 ・光熱水料の受益者負担について検討する。 ・省エネパトロールを実施する。 ・研究用実験室の月別電気使用量をウェブ上の農学部スペースに公開する。	事務長
		今後の人事基本方針の明確化と公表(継続) ・生物資源環境学科、FSC,菌類きのこ遺伝資源研究センターの人員配置の見直しを行う。	学部長
		教育研究組織と運営の改善(継続) ・平成29年度の生物資源環境学科の改組について、グローバル人材育成プログラムも考慮した内容とし、入試、カリキュラム等を整備する。	学部長
安全で効果的な 教育研究空間の確保	建物改修計画の推進	安全な教育研究環境の整備(継続) ・実験従事者の安全、リスク管理講習の義務化を図る。 ・化学物質の適正管理、実験環境の適正維持に努める。 ・安全・防災管理の計画策定と自主点検を実施する。	施設管理 委員長
		周辺施設(FSC・菌類きのこ遺伝資源研究センター・病理解剖棟)の整備計画の推進(継続)	学部長
国際交流の推進	国際交流の推進	国際交流の推進(継続) ・日韓合同国際シンポジウム等を活用した学生、教員の交流の活性化と実施体制の検討及び海外学術交流協定校との交流の活性化を図る。 ・JICA集団研修コースを通じて、国際交流の進展を図る。	学部長
	海外教育研究拠点の拡大	海外教育研究拠点の活用(継続)	学部長